

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月19日				
事業所名		放課後等デイサービス翠（みどり）				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動内容や静の活動、動の活動を工夫しながら行っています。	施設環境により、視覚・聴覚過敏に対する対応が難しいが、工夫しながら行ってます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		児童指導員・リハビリスタッフを適切に職員を配置し、人員基準を満たしています。	必要性に応じて、新規職員を採用します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		福祉車両は2台あり、デイ内はバリアフリーとなっています。デイの中でも車椅子での利用が可能となっており、車椅子の利用者も利用しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、掃除や物品の消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	パーテーション等を利用し、個別で支援可能な環境を作っています。	視覚情報は遮断できますが、聴覚情報が完全にできませんので、改善の検討があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定期的に客観的な評価を行っており、情報共有と事例検討会を行っています。非常勤で情報共有や事例検討会に参加できない職員がいますが、その際は書面で伝達するようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケート内容を真摯に受け止め、常に支援の質の向上に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員から出た意見は、ミーティング等を行い、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による外部評価は行っていません。	今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修会の費用を会社が負担し、研修会へ参加しています。 法定研修と小児に対する研修会を外部の講師（医療機関・大学講師など）を呼び研修しています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて支援プログラムを公表しております。	常にブラッシュアップをしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメント・客観的な評価を行い、ニーズと統合しながら計画を作成するようにしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎日の振り返りミーティングの中で、最善の支援方法を検討し、支援するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	事例検討や毎日のミーティングにて、共有しています。	職員によって支援のばらつきがありますので、職員への教育が必要です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	事業所独自に、標準化された客観的な評価ツールを使用し、行動状況を確認しています。	専門的な評価ツールであり、難しいこともあり、職員の理解が乏しいことがあるため、職員への教育が必要です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別に問題点を分析し、必要に応じて項目を適切に設定し、支援を行うようにしています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各専門職種が話し合いながら、活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	活動プログラムが固定化しないように、話し合いを行っています。	どうしても、固定化しがちになりますので、活動プログラムに対しては今後も力を入れる必要があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		毎日小集団での活動を行い、小集団以外の時間は、個別活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		学校の日支援前、学校休みの日は前日に1日の予定を書式化し話し合っています。打合わせに参加できない職員にも見て分かるように書式化しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		当日もしくは、次の日の支援前に振り返りを行い記録しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		振り返りを行いながら、記録作成をしています。その際、良かった点・良くなかった点などを話し合い、次の支援につなげるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングをし、計画の修正等を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を考えながら支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	自己選択できるようにしています。	障がい特性により自己選択が難しい利用者が多いため、検討の必要があります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	関連機関とは、常に連携し行っています。必要に応じて、状況を書式化し情報を共有するようにしています。	医療機関との連携が少なめですので、積極的に連携します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		関連機関とは、常に連携し行っています。必要に応じて、状況を書式化し情報を共有するようにしています。トラブル時には、電話または面談にて臨機応変に対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	児童発達支援事業所での個別支援計画書にて情報共有を行っています。	保育園や幼稚園との情報共有が少ないため今後情報共有を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		他の放課後等デイサービスを利用する際や訪問看護、訪問リハビリの利用をする際は、情報提供を行うようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	児童発達支援センターを利用していた利用者に対しては、児童発達支援センターと情報共有しています。	児童発達センターの研修を受ける機会がありませんので、今後検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		児童館での活動、地域の公園で活動を取り入れて、地域のこどもと場を共有する機会を作っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	会社で「SEねっと事業所交流会」に参加しています。	時間帯によって参加できないことがあります。今後は積極的に参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		モニタリング以外でも、送迎時に話をしたり、LINEで情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		必要に応じて、「子どもと絆を深めるプログラムCARE」などの提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		運営規定や利用者負担等は、契約時に丁寧に説明しています。支援プログラムについては、適宜丁寧に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		適宜、面談を行って、家族の意向を確認し、利用者と利用者家族を尊重している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		目標、問題点、支援内容を分かりやすく説明するようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談や日々の送迎時に子育ての悩みを聞き、助言と支援を行うようにしています。また、電話やLINEにて、相談できるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	忙しいとの理由で保護者会を、希望される方が少ない為、行っていません。兄弟で利用する方には、交流できるようにしています。	同法人内にある訪問看護と連携し、今年は交流する機会を設けることを検討しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情に対しては、会社内で迅速に対応し、適切に対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		InstagramやLINEにて行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		守秘義務を守り、個人情報の取り扱いには契約時に説明し同意を得ています。	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚で分かりやすく提示するなど、利用者と利用者家族に配慮しながら行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	会社でこども食堂に食材の提供、買い物バスの運行など、地域と関わりを持っています。	行事の地域住民の招待は、会社にて行っていますが、コロナになってからは行っていませんので、今後は検討します。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各々マニュアルある作成し、職員がいつでも見ることができるようにしています。家族には、契約時に説明するようにしています。	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		作成しています。必要な備蓄もあります。災害の場合は、近くにある会社と連携する体制をとっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬情報、てんかん発作の状況をご家族に聴取しています。必要に応じて医師や医療機関と連携しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食物アレルギーの方がいませんが、食物アレルギーの利用者の方とは、医師やご家族と連携します。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		作成しています。安全管理委員会を設置していますので、適宜対応しています。常に安全を考慮し支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全確保に対しては、家族と連携しながら行い、取り組み内容も家族へ行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		毎日の振り返りの中で、共有し再発防止に取り組んでいます。また、安全管理委員会で情報共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		会社で虐待防止の研修を外部講師を呼んで研修を行っています。虐待防止委員会を設置しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束は行っていませんが、必要性がある際は、家族へ説明と同意を得ます。また、個別支援計画書への記載を行います。	